

平成 24 年 11 月 7 日  
東京二十三区清掃一部事務組合

## 今夏の清掃工場の電力対策取組み結果について

今夏の清掃工場の電力対策として、4つの取組み<sup>※1</sup>により清掃工場からの電力供給（送電電力）を増量しました。また、同時に最大使用電力（受電電力）の抑制にも努めました。

これらの対策の取組み結果は下記のとおりです。なお、今後も当組合は電力需給の状況について注視し、的確な施設の運用を図っていきます。

### 記

#### 1 電力供給（送電電力）の増量

- (1) 灰溶融炉 1 炉稼働による目標送電電力 58,000kW は、おおむね達成しました。なお、灰溶融炉 1 炉稼働による節電対策は現在も継続的に実施中です。
- (2) 灰溶融炉全停止及び集中焼却による目標送電電力 73,000kW は、おおむね近い値で推移しました。
- (3) 上記の取組みと焼却量の調整による目標送電電力 80,000kW は、8月1日（水）15時に今夏の最大送電電力 83,100kW を記録し目標を達成することができました。

#### 2 使用電力（受電電力）の抑制

送排風機の一部停止等による省エネ対策を実施し、期間中の受電電力抑制に取り組みました。期間中の休日を除く 9時から 20時の最大受電電力は 20,000kW となり、前々年同期の最大受電電力 33,600 kW に比べ、40%減の抑制となりました。

#### 3 平均電力（7～9月）（図-1）（表-1）

今夏の発電、受電、送電、総使用電力の 3 か月間の平均はそれぞれ前々年同期に比べ 3.8%増、46%減、11%増、13%減となりました。

また、受電減、送電増による買電電力料金と売電電力収入の増減は表-1 のとおりです。

※1 各取組内容については 6 月 27 日 H P 掲載の記事をご参照ください。

<http://www.union.tokyo23-seisou.lg.jp/gijutsu/oshirase/denryoku.html>

(ホーム > 東京二十三区清掃一部事務組合について > 各課からのお知らせ > 電力需給逼迫に対する清掃工場の取組について)

問い合わせ先  
施設管理部技術課  
03-6238-0775

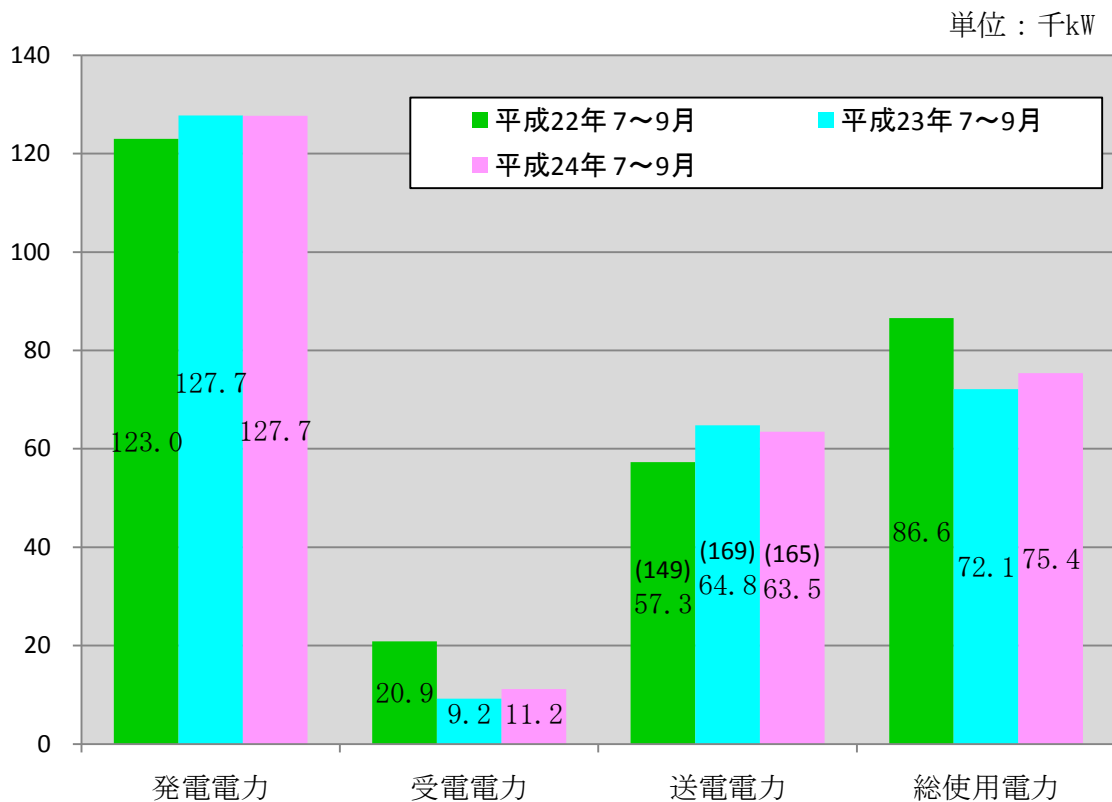


図-1 平均電力 (7~9月)

※ 括弧内の数値は1世帯あたりの平均消費電力0.384kWにより換算した世帯数(単位：千世帯)を表す。  
 (1世帯あたりの平均消費電力は平成24年度 数表で見る東京電力 家庭の電力需要より算出)  
 ※ 数値については速報値のため年報等と異なる場合があります。

表-1 買電電力料金及び売電電力収入の対前々年同期比較 (概算)

単位：百万円

	受電 (買電)	送電 (売電)
平成24年 7~9月	525	1,418
平成22年 7~9月	650	1,179
増減	-125	239
比率	-19.2%	20.3%
(参考) 平成23年 7~9月	379	1,378